

10月17日(日)「本人の心 家族の想い」セミナー アンケート結果

会場参加23名 オンライン参加88名
アンケート回収数 会場9名 オンライン47名

オンライン参加

年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
40代	障がい者支援者	当事者の方のお話を伺えてよかったです。ありがとうございました。	
40代	当事者、経験者ご家族(親戚)	講師も参加者も自宅から出られない方も全国から参加できることがオンラインはすごいと思いました。コロナ禍になって逆にできることが増えたように感じました。三者三様で良かったです。丹波弁素敵と思いました!全国に不登校ひきこもり仲間がこんなにたくさんいるなんて…新しい時代の新たな生き方、つながり方ができたら良いのかなと思いました。	研究されているような専門家の方がいたらお話を聞いてみたいです。当事者やお母さんの話は聞けたので…
70代	当事者、経験者ご家族(親戚)	皆さんの体験を伺えたのは良かったです。渡辺さんのお話しがとても具体的に初めて伺った話でした。まとめるのに大変だったろうなと思いました。ご苦勞様でした。	私は今息子との関係改善のため、山根さんと丸山さんのお話を聞いておふたりの提案を実践しております。御二方とも具体的な内容でお話しをされているので皆さんにも聞いて頂きたいと思っています。
40代	当事者、経験者ご家族(親戚)	当事者と母親の両方の思いが聞けてよかったです。	
50代	学校関係者	当事者やその保護者の話を聴くことができるとてもいい機会になりました。保護者の理解が進まないケースや家庭に恵まれていない生徒が多数在籍しています。保護者を含めた支援や理解の大切さや、どれだけ教師が生徒に関われるのか等、まだまだ多くの課題があると思っています。本当にいい機会をありがとうございました。頑張ります。	
70代	当事者、経験者ご家族(親戚)	皆さん本当にお話がお上手で、示唆にとんだお話をありがとうございました。	今後もオンラインで発信していただけると嬉しいです。
50代	当事者、経験者ご家族(親戚)	ずっとうんうんと頷きながら拝見いたしました。まだまだ、ひきこもりの家族が困っていると声をあげるのが困難な中、このようなセミナーはとても貴重なものでした。ありがとうございました。	やはり、どのように立ち直りに至ったかの事例を聞きたいです。

年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
40代	学校関係者	特に後藤さんの母としての体験談が分かりやすく勉強になりました、またぜひ参加したいと思います。 思いがけず、近くに座っていた夫と一緒に話を聞いていました。(オンライン) そんな世界もあるのかと、後藤さんの話に引き込まれたのだと思います。 不登校や引きこもりに関心のなかった夫のような一般の人にも、ぜひ聞いてもらいたいと思いました。ありがとうございました。	
50代	当事者、経験者ご家族(親戚), その他	お三方からそれぞれ学ぶことができ、とても良かったです。 後藤さん、新柁さんの熱いメッセージも心に響きましたし、元気を頂きました。 また渡辺さんのお話は、不登校の原因がはっきりしない息子にも言えることかなと参考になりました。参加させて頂きありがとうございました。 昨日参加できなかった方達にも聞いて頂きたい内容であったと思います。後日動画配信をして頂けると嬉しく思います。	
40代	障がい者支援者	会場マイクの聞き取りにくさはありませんでしたが、とても良い研修で参加してよかったです。特に後藤さんの話を聞いて、涙がでました。命の尊さをなぜか忘れてしまいがちになりますが、何気ない日常の繰り返しがどんなに幸せかと思えます。笑って過ごせること、とても大事ですね。人が人と関わることの尊さや醜さ、そういったものが家庭に集約してしまうのが引きこもりの問題なのだと感じました。心のやり取り、話を聞くこと、親を元気にすること、支援のヒントをたくさんいただきました。ありがとうございました。	当事者の方たちは、病院をどう思っているのでしょうか?医療サポートとの良い事例をご紹介いただき、地域の医師の方にも聞いていただきたい気がしました。
50代	その他	経験された方のお話を始めて聞きました。 私も誠子さんみたいに明るくなりたいです。	子供と、私が共依存で、過干渉で世話を焼きすぎて、専門学校を辞めて今、家に居ます。顔が能面みたいです。誠子さんみたいに、専門学校さえ行けば、レールに乗れると思っていました。祖母とか、話せる人がいればと思ったりします。歌手になりたいと言っていたけど、最初反対しました。子供と信頼関係を築くのが難しいです。共感してこなかったのも、どうせ言っても思われています。 居場所があるといいなあと思っています。
40代	当事者、経験者ご家族(親戚)	主人とzoomで参加しました。約4年不登校の子がいます。主人はあまり子供を理解していなく、不登校に関する書物がありますが読もうとせず、私も話をしますが、自分の考え中心で子に対しても言動がきつかったです。 最後までセミナーに参加して少し考えが変わったようです。ありがとうございました。	不登校、引きこもりの子の今後について。希望が持てる様な話を聞きたい。 zoom参加出来るセミナーが増えればありがたいです。

年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
40代	当事者、経験者		
50代	当事者、経験者	とても、良かったです。誠子さんのお話は共感できましたし、しんますさん、渡辺さんのお話は息子の気持ちと近いものがあると思います今後の生活に活かして行きたいと思いました。	今後も、ひきこもりや不登校を経験した方のお話を聞きたいです。また、今回会場でのお話が聞きにくい状態でしたので、音声の環境を整えて頂けると助かります。
40代	高齢者等支援者	ひきこもり当事者や家族の感想を聞くことができて、非常に参考になりました。	ひきこもり地域支援センターの職員による、支援の実態について
40代	当事者、経験者ご家族(親戚),障がい者支援者	当事者の方、ご家族の方、支援者の方それぞれのお立場から実際経験されたお話が伺えて勉強になりました。ありがとうございました。	
30代	当事者、経験者	私も当事者だけど、当事者が当事者の話聞くのは、結構きつことが分かった。直接的にトラウマのフラッシュバックみたいのがあったわけではないが、無意識下では似た経験を聞くと思い出されるものがあるのかもしれない。基本的には赦している親への怒りが少しだけ高まったかもしれない。結構、心が不安定な場合は、注意が必要かもしれない。 当事者の話を支援者や家族が聞く場合も、一応言われてたかもしれないが、当事者の経験や心の中はあくまで、その人の個人的な経験、心の中っていうことに注意が必要に思う。逗子の方と丹波の方双方、一応個人的な体験、経験としているが、もう一度注意が必要に思う。スライドには、引きこもりの心というようなタイトルがあったが、一般的なことなのか、渡辺さんの個人的なことなのかははっきりしなかった。一般化の場合も渡辺さんの場合も私と比較すると違う。この項目この度合いが大きい、小さいあるが。一般化の場合ではできればだけど、引用先とか主張されてる方を教えていただけると助かります。 音響の方は、丹波の方の会場の声の反響なのか、分からないけど、オンライン用のマイクもあった方がよいのではと機械にそこまで詳しくない理系人間の想像だけど、少しそう思います。無線のマイクとパソコン等に差し込むタイプのマイクとどれ位違うか分からないけど。あまりお金使うことはないと思うけど、なにかできればご検討ください。 いろいろ申しましたが、今回は貴重な機会ありがとうございました。離れていますが、手伝えることあったら手伝います。こういった活動も支援者、当事者込みの引きこもり等の生きやすくなる道だと思うので。できることあれば当事者ですが、少し運営側にもまわれます。	ヴィヒャルト千佳子さん そちらで、もし聞いた人少なければ。関東中心で活躍なのでオンラインで繋いだりになるかもですが。

年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
50代	当事者、経験者ご家族(親戚)	不登校初心者で、セミナー受講は初めて。講師の先生方の経験段は、我が家での出来事と重なる内容が多く、本当に勉強になりました。ありがとうございました。	
50代	当事者、経験者ご家族(親戚)	皆さんの具体的な体験談が詳しく聞けて有意義でした。	経験者で現在就労されてる方の仕事の話が聞きたいです。
40代	その他	神戸より参加しました。 後藤さんが登壇なさるし無料で参加しやすかったのもあり、Facebook告知を見て、申し込みました。 家族であり支援者の立場にあります。 お話いただいた方々みなさん、テキストにあるような発言ではなく本当にわかりやすく、それぞれのお立場からのお話、とても参考になりました。もっと聞いていたかったです! 誰にとって、何が正解か、我が子の場合はどうか、など参加者も考えやすかったと思います。 ありがとうございました! 参加できて、良かったです。 心理学大好きなホームスクーラーの10歳次女も、『聞きたい!』と一緒に聞いており、心の学びに繋がったようです。	不登校のお子様を持つ方が、どんな感じでおうちで過ごしているのか、様々な段階もあるので、そのあたりも聞いてみたいです。多様な学びプロジェクトの生駒さんのお話も、一度聞いてみたいです。 ひきこもりにも、同じく個人個人でのタイミングがあると思いますので、そのあたりも、どなたか、、、 よろしく願います!
50代	当事者、経験者	後藤さんのお話、私と全く同じ状況でした。信頼関係のもとに認める、ということの大切さ。様々な感情を乗り越えてたどり着くものかなと感じています。 私と同じ気持ちを経験された方の話をきき、少し気が楽になったような。涙がでました。ありがとうございました。	
40代	当事者、経験者	後半は用事で退出してしまったので、参加者からのQ&Aが見られず残念だった。	講演よりも、パネルディスカッションやQ&A方式のイベントが聞きたい。
60代	当事者、経験者ご家族(親戚)	親として、大切な事は、当事者の我が子の辛さを理解する事ですね。	少し子供の辛さが、理解できるようになったと、思います。 次のステップになんとか進みたいです。 一人一人違うと、思いますが誰かに助けて欲しいです。 もう一歩踏み込んだセミナーを希望します。
30代	当事者、経験者	それぞれの話が聞けてよかった	経験者で就職に悩んだ人な話
20代	その他	家族、当事者のこれまで経験されてきた生々しいところも含めた実態に触れることができました。想像力の及んでいないところが多々あったと感じます。非常に勉強になりました。ありがとうございました。	ひきこもりUX会議 林さん、ウチらめっちゃ細かいんで 佐藤さん
40代	当事者、経験者ご家族(親戚)	とても勉強になりました。普段、直接お目にかかれぬ方のお話が聞けて、良かったです。	特に思いつかないので……不登校や引きこもり経験がある方なら、どなたでも。
60代	当事者、経験者ご家族(親戚)	当事者、親の立場の声が聞けて良かった。	発達障害 特に自閉症スペクトラム(ASD)と診断されたかたに、どう困っているのか聞いてみたい。

年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
50代	当事者、経験者ご家族(親戚)	<p>後藤誠子さんのお話は何度伺っても涙してしまいます。</p> <p>また、男性お二人のご経験も、すごくよかったです。</p> <p>具体的には、やはり人とつながりたい、認められたい、失敗を許してもらえる仲間や親などゲームの世界でなく、リアルの世界がとても大切なんだと実感しました。</p> <p>勇気をもって、話してくださってありがとうございました。</p>	<p>しくじりママブログで有名な田中リリーさんのご長男とのバトルの実際のお話を伺いたいと思いました。</p>
50代	当事者、経験者		
40代	当事者、経験者ご家族(親戚)	<p>主宰者さまも画面を共有できれば、見やすかったかもしれません。zoomでもいろいろあるんだとおもいました</p>	
40代	行政機関、若者等支援者	<p>後藤さんには、生身の親の正直な思いに触れ、綺麗ごとではない修羅のような道の先に今の笑顔があるのだと感じました。また、新舩さんからは、過去に縛られて生きざるを得ない苦しさのお話(心理の学生さんのお話)の中で、普段から何らかの形で私も同じように人を傷つけていないか、と改めて心引き締まる思いがしました。渡辺さんからは、居場所とは他で経験できたらよかったことを安心できる場所で改めて経験し直す場所なんだと思うと、アクシデントがだいじなんだなあ…とかんじたり。支援に携わる者としての参加ではありますが、どちらかと言えば、たまたま引きこもらなかった一成人、もしくは、まだ今のところ子どもは引きこもっていないだけの一親というスタンスで、お話を聴かせて頂きました。自分の人生と重ね合わせ、分岐点を見つめなおし、今私ができる事、すべき事は何か、と考える良い機会になりました。支援に携わる者も、やはりただの人で、やはり笑っていなければ良い結果は出てこない。そんなことを思いながら登壇者の目の輝きを拝見していました。元気になるセミナーをありがとうございました。</p>	

年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
50代	当事者、経験者、若者等支援者	私と同じ“経験者相談員”である渡辺さんのお話にはいちばん興味があって参加しました。朴訥な語り口ながら本人の心理を過不足なく伝える内容はすばらしく、パワーポイントの図は自治体のひきこもり相談窓口が配布している冊子にそのまま載せられるグレードだと感銘を受けました。後藤さんと新舩さんのお話は何度か聴いていますが、今回参加者の多くが初めて聴いたのではないかと思うと私もうれしいです。音声の一部聴き取りにくかったのは会場とZOOM併用の難しさで、私としては今後のイベント企画の参考にさせていただきます。大槻さん・スタッフの皆様、ありがとうございました。	有名どころは置くとして“父親版後藤誠子”とも呼ぶべき函館市の野村俊幸さん、ひきこもりの居場所やピアサポートのことなら神奈川県割田大悟さん。ひきこもりの“経験者相談員”なら、東京都の瀧本裕喜さんや宮崎県の“聞風坊”こと内田昌宏さん。
40代	当事者、経験者	ところどころ聞けなかった部分ありましたが、すごく参考になりました。ごとうさんのお話には引き込まれました。弟さんに対しての暴言、暴力のところは聞いている方も胸が痛かったですが、相手に不登校やめてほしいのは、自分が恥ずかしい思いをするから、という自分のためという隠れた本音。また、Mさんとの出会いで、生きてるだけでいいんだよという気づき。最後の方のお気持ちもよくわかりました。私も働いてないことを言えないので、友人とわざと距離を置いて連絡取らないようにしています。どうやって暮らしているのか、腹を探られたこともあります。主婦であれば無職であっても何も言われないのに、いい歳こいた大人が独身でやはり親元にいるのは許容されない世の中な気がします。また、昼夜逆転のサイクルも、その深夜の時間、自分だけに特別なものを感じるというのも今の自分にしっくり来ます。ありがとうございました。	今後ひきこもりがどうやって就労しているのか、社会復帰できるのか？
60代	当事者、経験者ご家族(親戚)	いろいろな方のお話を聞いて良かったです。	ひきこもりから抜け出した様々な方、家族から話を聞きたい。
50代	当事者、経験者ご家族(親戚)	あっという間の2時間半でしたが特に、しんますさんのお話が印象深かったです。子供の興味がある事に関心を持ち、共感する事は喜びに繋がるんだと再確認しました。これからも寄り添っていきます。ありがとうございました。	
60代	当事者、経験者ご家族(親戚)、行政機関	当事者家族として、気長にゆっくり待つことを理解しながら、親も歳を重ねるので、心配は絶えません。また、仕事の立場もありますので、今後ともよろしく願います。『たんえん』には、お世話になるばかりで、ありがたいです。	また、個人的に相談する機会が、ありましたら、よろしく願います。

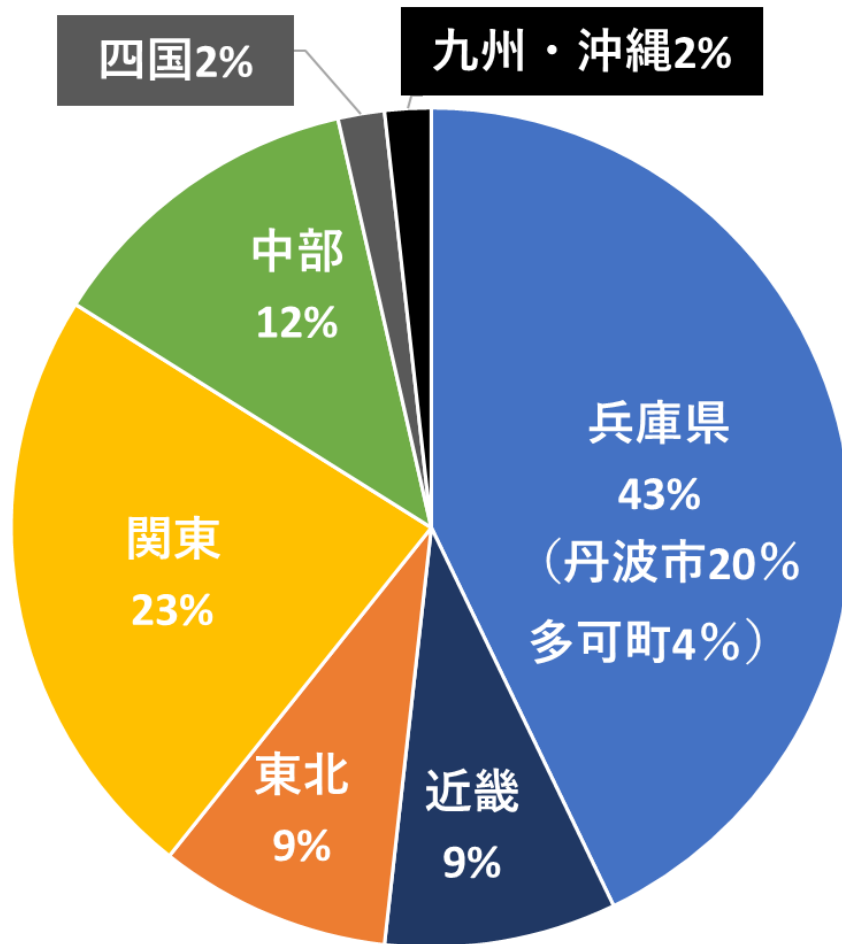
年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
40代	当事者、経験者	とてもよかったです。3人の方のそれぞれの思いが伝わってきました。皆さんがとても深くものを考えておられると思いました。	何かのきっかけで働き方が変わった人のお話を聴いてみたいです。 仕事以外に大切なものはありますか。守るべき何かがあると思いますか。なんのため、誰のために働いていますか。そんな問いに立ち返らせてくれる場があったらいいなと思います。
40代	当事者、経験者ご家族(親戚)	オンライン開催もして下さったので、遠くからでも参加できて、とても助かりました。有意義な時間を過ごす事ができました。 会場でお一人質問されましたが、オンラインでは質問内容が聞き取れず、登壇車の方も回答できずに、終了してしまいました。 どのような質問でどのような回答であったか、参加された方は聞きたいと思うので、質問と回答をメールで送って頂けると嬉しいです。	加藤諦三先生、大原敬子先生、
70代	当事者、経験者ご家族(親戚), 若者等支援者	当事者、経験者のお話は心に響きました。	ひきこもっている人の家族にできる事
30代	当事者、経験者, その他	ひきこもりや生きづらさなどについて考える時間になりました。司会の方のお話のイントネーションが、開催されている土地の雰囲気を感じられていいなと思いました。男性お二人のお話はスライドがあることでわかりやすかったです。チャット欄にも書き込もうと思ったのですがフルネームの方が多く、また自分の名前がどのように表示されるかわからなかったのが遠慮しました。	
50代	当事者、経験者ご家族(親戚)	親の立場、当事者それぞれの立場の体験談を聞かせていただき、とても参考になりました。 このような、セミナーに初めての参加だったので、このように苦しんでいるということが、自分だけでないということがわかり、心が少し軽くなりました。本当にありがとうございました。	心を閉ざした人にどのように対処したら、心を開いてもらえるのか教えてもらいたいです。 頑なに、避けられている場合、第3者を通して対応するしかないのか？ 行動を起こすと、ますますひどくなってしまっているのではないかと？ そのような対処方法について、また、こんな例があったという色々な事例を聞いてみたいです。 特に、8050問題で、同居する兄弟の対応です。 ぜひ、よろしく願いいたします。

年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
40代	行政機関	<p>みなさんそれぞれ長い経過をたどった方やまだたどっている方それぞれの人生がありますね。</p> <p>私は、ひきこもりと聞いて、生きていてくれるだけでいいと言われても、つい今後の生活をどうするのか?と将来のことを考えてしまっていました。</p> <p>しかし、散髪や歯科受診やら、もっと目の前の日々のことですらままならないのに、将来のことなど考えられるわけがありませんよね。自分の考え方がとてもずれていると実感しました。</p> <p>また、今年度の新規相談者の状況を見ると、居場所にくる当事者より、保護者の相談の方が多く、後藤さんが言われた、家族支援の大切さも実感しています。</p> <p>迷いながらやっと相談につながった方の話しをきき、少しでも荷をおろしていただくお手伝いができればと思います。</p> <p>このような研修会を開催していただいたことに感謝しています。</p> <p>今後ともよろしくお願いいたします。</p>	
40代	当事者、経験者ご家族(親戚)	<p>不登校児の母です。</p> <p>経験談を聞いて多くを語らない息子の気持ちが変わったように感じました。「今、こういう気持ちなのか、こんな事を考えているのか」と思え、息子の事をふわっと受け入れる事が出来ています。</p> <p>母親の立場の、ありのままの経験談も、すごく勇気づけられました。</p> <p>素晴らしい企画、ありがとうございます!</p>	フリースクールをやってる方、通ってる方の話を聞きたいです!
30代	生活困窮等支援者	<p>ひきこもりの当事者に会うことよりも、家族支援が大切だと改めて学ぶ機会になりました。</p> <p>家族が元気であること笑うことがなにより大切だと感じる事ができました。</p>	
40代	当事者、経験者ご家族(親戚)	<p>すみません、用事ができて参加できませんでした</p>	
70代	若者等支援者	<p>”弟を殺そうか” ”死ねなくてごめん” が頭から離れません。素晴らしい企画でした。</p>	
50代	当事者、経験者ご家族(親戚)	<p>ひきこもりの子の母親として自分自身がしあわせであるとは思うことが出来ずやはりそう思えないのは自分の責任なのかなと思ひ至ります。</p>	

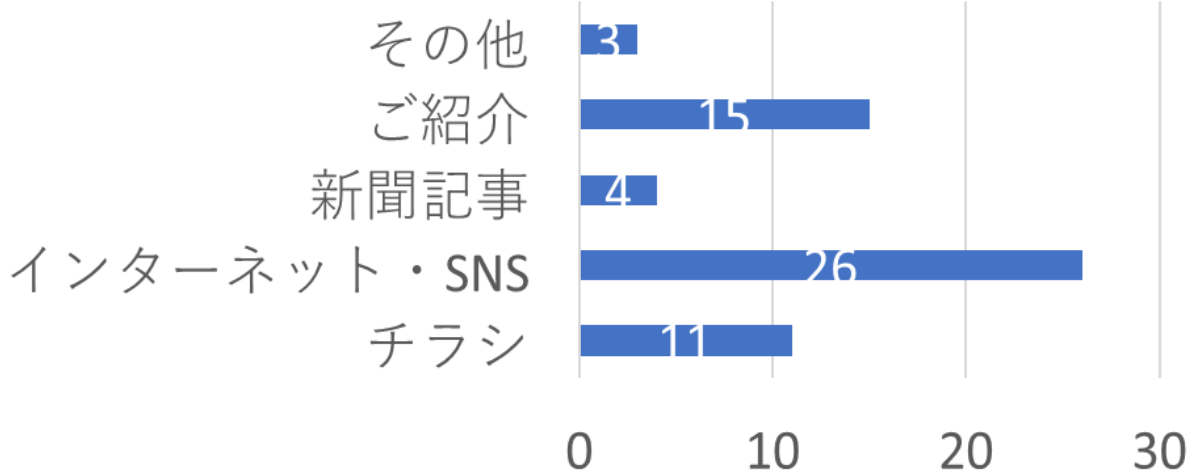
会場参加

年代	立場	感想	今後開催希望の内容・講師
40代			B型のしごとをすることがすくないよ またしてほしいよ
50代	行政機関		
40代	当事者、経験者、当事者、経験者 ご家族(親戚), 若者等支援者	親の立場でのお話、大変参考になりました。保護者支援の大切さ、経験者・当事者の思いを参加の皆様と共有できたことも有意義だと考えます。	斎藤環先生、池上正樹先生、お世話になりました
40代	行政機関	後藤さんの母親としての視点と、新柁さんの息子としての気持ちがちょうどリンクして聞こえました。「死にたい程つらいこと」だと忘れずにいたいと思います	
70代	若者等支援者、障害者支援者	とても勉強になりました。親子や学校での人間関係の問題である側面をもっと深めていこうと自分は考えています。	親や教師と当事者の相手が対等に壇上で話をするような場は考えられませんか？
40代	障害者支援者	貴重なお話が聞けてとてもよかったです。当事者、保護者の話は心にしみました	今回のような当事者、保護者の話、他には本当は社会が病気だと思っているので、そんな話が気軽にできたらいいなあと思っています。(病気の社会の中で命を守る行為、個人が病気になる方がむしろ必然だと思っています)
60代	若者等支援者	初めての形での講演会でしたが、これもいいですね。当事者の話を聞くとうごく参考になります。たくさんの事例を知って生かしていきたい	本人のことは(当事者で立ち直った人)、親でも。親の話をの聞き方
50代	障害者支援者	3人のお話それぞれ面白かったです。特に後藤さんのお話は親の立場からのものだったので、子を持つ親としてのリアリティが感じられました	医者あるいは臨床心理士さんのお話も聴いてみたいです。斎藤環さんとか。
50代	行政機関	当事者、親、相談員・支援者、それぞれの立場から話が聞けたので良かった	当事者、経験者、ご家族と教師のそれぞれの立場での思いと妥協的な点について

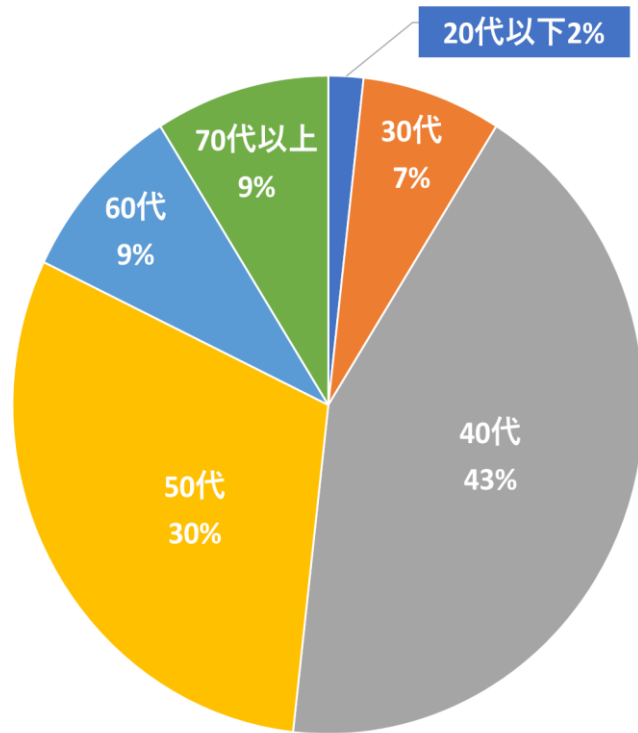
地域別の参加者割合（回答者数56名）



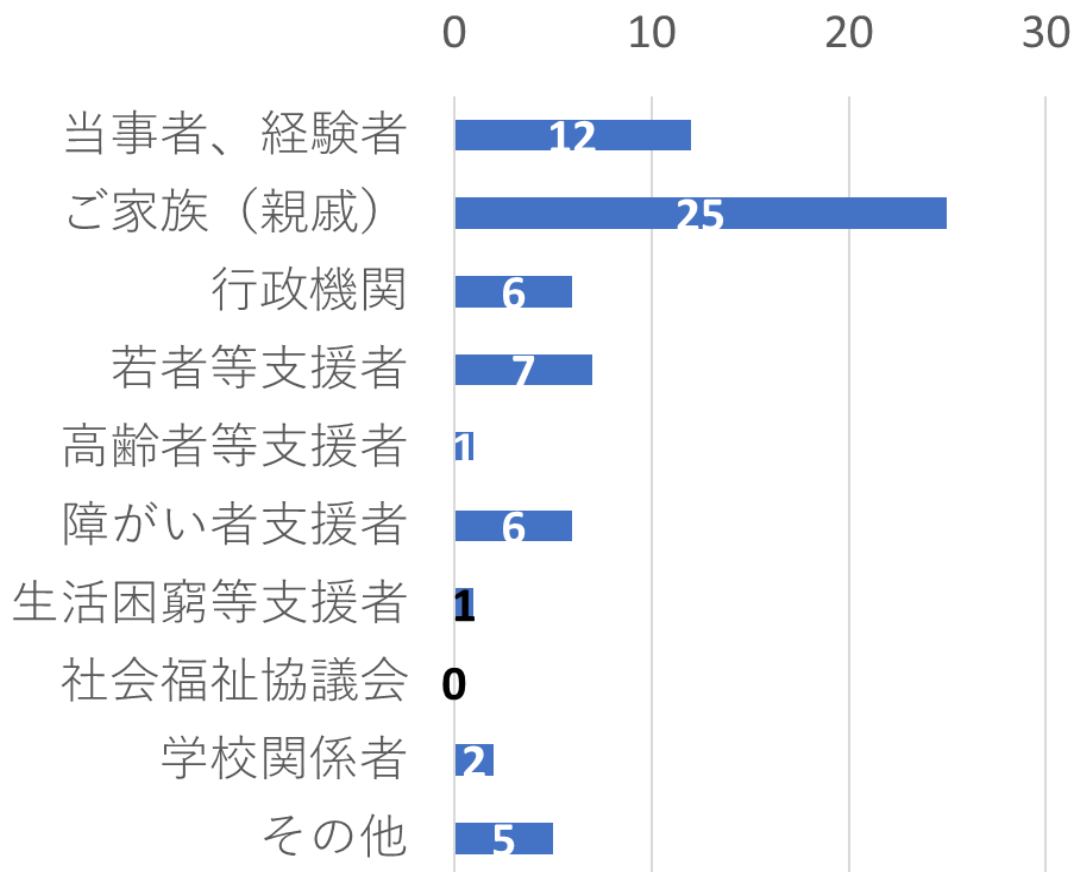
今回のセミナーを知ったきっかけ（複数選択可）



年代別の参加者割合（回答者数56名）



参加者の特性（複数回答可）



Q&A

(当日マイクの不調でできなかった会場からの質問)

Q. 不登校の対応をされている教員が、子どもさん本人と会えず、また保護者も子どもさんの不登校に対して協力的でない場合に、どのような支援をしたら良いのか？ 教員や教育委員会に対して「当事者としてどうしてほしかったか？」「そういう対応は困る」というところで何か一言いただければ幸いです

A1. 個人としての見解ですが、まず、本人に会うのはとても難しいので、保護者の方が協力的でない場合にしても、保護者の方にアプローチすることが原則だと思います。
そして学校復帰ありきではなく、本人、保護者の方に学校を一つの学びの場として考えてもらえるような対応がいいのではないのでしょうか。
学校に行かない、行けないのは、学校になんらかの原因があると私は考えます。
まずは、本人・当事者が学校で傷ついた、なにがしかの傷を回復や休息できるような環境を教員と保護者が共に模索していくのが良いと思います。
個人的な体験として、不登校というレッテルを張り「劣ってる人」という目線で見られるのが嫌でした。
それは何よりも、不登校当時の私自身が感じていました。なので、一人の人間として学校に行ってる人と同じような対応をしてもらえると嬉しかったと思います。
さらに、「誘導」や「作為的な支援」ではなく、その本人の興味関心に興味を持ってほしいと思いました。
私が不登校だった際に、まだ会ってない支援者が訪問支援をし、「マンガ」を置いて帰ったことを覚えています。
言葉がきつくなりますが支援者が「エサ」を置いて帰ったなど当時中二の私は感じました。
支援者が社会復帰を促すような作為的な支援は子どもであっても見抜きます。
なので、学校復帰や支援機関へ来ることを「促す」ことを全て諦め、対等な関係で接してもらいたいかもしれません。
それでも、支援者が訪問すること自体私は嫌悪感を感じてました。つまり学校復帰のを感じてしまいます。なので、親御さんと外で会うであったり、出来るだけ支援的なことはせず、不登校のまま生活が楽しくなるような方法を考えてもらえれば結果的に本人のエネルギーが溜まって行動するようになり、やりたいことを見つけ、学ぶ必要性が出てくると思います。
不登校というラベリングして支援しないこと（一人の人間として接する）が一番かなと思いました。

A2. 私なら保護者が本当に困って連絡をしてくるまで放っておきますけど、学校としてはそうもいかないんでしょうね。
いつでも困ったら頼ってくださいねってスタンスでいるしかないと思うんですよね。だって、無理やり連れ出すわけにもいかないですし。
というか、そもそも支援しないがモットーなのでね